

HEIZO TAKENAKA 竹中平蔵

LONDON
SPEAKER
BUREAU

▪ 日本の元経済財政担当大臣



竹中平蔵教授は、2001年、小泉内閣の経済財政大臣就任を皮切りに金融担当大臣、郵政民営化担当大臣、総務および通信大臣などを歴任。彼は世界的に著名な経済学者です。

竹中は小泉首相と緊密に協力して、小泉 - 竹中改革という一連の改革を行った。この間、当時世界最大の金融機関である日本郵便貯金「ゆうちょ」を改革し民営化した。これに先立ち、彼は日本の主要銀行の不良債権の処分を達成し、それは10年以上にわたり日本経済を妨げてきた。

彼の就任期間中、実質GDPは平均2.2%上昇し、投資家の前向きな見方から、日本企業の株価は平均ベースで80%以上上昇。竹中は公的資金の再構築に努力し、2002年に割り当てられた28兆円から2006年には6兆円へと一次収支の大幅な改善をもたらしました。貯蓄の総額は、消費税の9%増と同じになります。

彼の経歴の初期、ハーバード大学とペンシルバニア大学の両方で客員研究員として学術的キャリアを始める以前、日本開発銀行に入社しました。竹中は1998年に経済戦略会議（首相への経済政策に関する諮問委員会）のメンバー、そして2000年にはIT戦略会議（首相へのIT政策に関する諮問委員会）のメンバーに任命されました。

大臣を経て、竹中は学界に戻りました。現在は慶應義塾大学の名誉教授として、東洋大学教授テレビやラジオに定期的に出演しています。また、次の機関を含めたいくつかの諮問委員会および委員会委員も務めている。(社)日本経済研究センター(JCER)研究顧問、アカデミーヒルズのダイレクター、パソナグループ会長。オリックス社外取締役,SBIホールディングス社外取締役、世界経済フォーラム(ダボス会議)理事等。

Topics

- Asia
- China
- Economics
- Finance
- Leadership
- Politics